

4.7.1 建設副産物の処理への取り組み

1) 建設発生土

建設発生土の発生・利用計画は、事業計画の概略より表 4.7.1-1 に示すとおりである。

表 4.7.1-1 建設発生土の発生・利用計画

単位：m³

工事の内容	主な発生要因		建設発生土量	発生土の利用計画
ダムの堤体の工事	堤体基礎掘削		1,100,000	[ダムの堤体の工事]
原石山掘削	表土、廃棄岩、原石等		540,000	堤体コンクリート：500,000
付替道路関係	道路の設置及び付替 道路工事		460,000	仮締切盛土：90,000
その他	仮置場※	(土会平)	570,000	[地すべり対策工] 地すべり対策工：1,250,000
		(藤田)	350,000	
		(野原)	100,000	
		(金川)	440,000	
		(清楽)	200,000	
	脱水ケーキ再利用		174,000	[代替地盛土] 代替地盛土：2,060,000
合計			約 3,934,000	約 3,900,000

※：仮置場から発生する建設発生土は、本事業に先行して実施した付替道路等の工事の際に仮置きした建設発生土を示す。

工事に伴う建設発生土は、ダムの堤体の工事や事業区域内の地すべり対策工及び代替地の造成などにおいて、利用する計画としている。